

ハピネット

7552 東証 1 部

2019 年 5 月 14 日 (火)

Important disclosures
and disclaimers appear
at the back of this document.

フィスコアナリスト

■ 19 年 3 月期は売上高が 21.7% 増、 映像音楽事業が拡大

ハピネット<7552>は13日、2019年3月期連結決算を発表した。売上高が前期比21.7%増の2,403.98億円、営業利益が同5.5%減の45.40億円、経常利益が同6.8%減の43.83億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同32.2%減の27.35億円となった。

玩具事業の売上高は前期比7.8%増の770.04億円、セグメント利益は同18.1%減の20.21億円となった。バンダイの女兒玩具及びハイターゲット向け商材が好調に推移したことや、ホビー商材の取扱いが拡大した。利益面では、オリジナル玩具を中心に在庫の評価損失を計上し、減益となった。

映像音楽事業の売上高は前期比92.5%増の817.62億円、セグメント利益は同24.3%増の10.96億円となった。星光堂の卸売事業を承継し、中間流通シェアを拡大したことに加え、ヒット商品にも恵まれた。利益面では、子会社において物流面、営業面での業務改善を行った。

ビデオゲーム事業の売上高は前期比2.3%減の616.48億円、セグメント利益は同12.0%減の10.38億円となった。Nintendo Switchのハード及び関連ソフトや、独占流通のPS4関連ソフトが好調に推移したものの、携帯型ゲーム機のハード及びソフトの落ち込みをカバーするに至らなかった。

アミューズメント事業の売上高は前期比3.1%減の199.83億円、セグメント利益は同2.7%増の17.24億円となった。カプセル玩具は新規ロケーションの開拓などにより好調に推移したものの、カードゲーム商材が低調に推移した。利益面では、オペレーションの効率化により増益となった。

2020年3月期通期の連結業績予想については、売上高が前期比0.2%減の2,400.00億円、営業利益が同10.1%増の50.00億円、経常利益が同9.5%増の48.00億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同2.4%増の28.00億円を見込んでいる。

ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ